

平成29年度 川西市立川西北幼稚園評価・学校関係者評価報告書

川西市立川西北幼稚園

1 教育目標

教育目標「心身ともにたくましく 心豊かな子どもを育てる」を目指し、人間尊重の精神を基盤に、子どもの視点に立って一人一人が自己実現できる保育の創造を図る。

2 経営方針

- 子ども一人一人の可能性が発揮され、自己実現を図ることのできる保育の創造に努める。
- 教職員の専門性を磨き、資質向上を図ることができる研修に努める。
- 家庭、地域との連携を深め、地域の子育て支援に努める。

3 幼稚園自己評価結果

○実施時期 平成30年2月17日～21日

○対象 保護者、全職員

*A そう思う B 少し思う C あまり思わない D 全く思わない 各問にAからDより1つ選んで回答した人数の合計を示している。

*園児数 59名 回収数 50 保護者回収率 84.7%

	項 目	保護者				職員				・取り組みと成果 *課題や改善方策
		A	B	C	D	A	B	C	D	
保育内容・研究推進	① わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	46	4	0	0	3	5	0	0	・子どもたちは自分で好きな遊びを見付け、主体的に遊ぶことができるようになった。また、幼稚園の遊びや行事を楽しみにし、期待しながら通園してくる子どもの姿が多く見られた。 ・今年度の研究テーマを「人とかかわりの中で自己発揮する子どもを育てる」と設定し、取り組んできたが、⑤「わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている」の項目で「少し思う」
	②わが子は、学級に気の合う友達がいる	41	9	0	0	5	3	0	0	
	③幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている。	48	1	1	0	7	1	0	0	
	④わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	43	7	0	0	6	2	0	0	

保育内容・研究推進	⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている	23	26	1	0	2	6	0	0	と回答した割合が高い。教師自身は意識して子どもにかかわっていたが、研究を深める時間が十分にもてなかったことを感じる。 *研究計画の反省から、教師の援助や環境構成を振り返り、今後の保育に生かし、自己発揮できる子どもを育てていきたい。 *項目⑤⑥については昨年度と同様、他と比較すると評価が低めであるので今後も重点的に取り組んでいきたい。
	⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている	28	19	3	0	4	4	0	0	
幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、小学校や中学校、保育所などの学校間交流や地域交流をよく行っている	37	13	0	0	4	4	0	0	・川西北小学校、川西北保育所との交流では事前・事後の打ち合わせを行い、前年度の反省を生かしながら取り組むことができた。 ・地域の農家の協力を得て行っている米作りでは、作物を育てる大変さと収穫の喜びを味わうことができた。また、5年生とのかかわりを深めるよい機会となった。 ・参観前日に参観のしおりを配布することで、教師の願いや保護者に見ていただきたいポイントを知らせることで、具体的に子どもの姿や育ちを見てもらえたり、教師の援助の意図などを理解してもらったりすることができた。 ・パソコンのシステム変更でホームページを更新しにくくなったが、幼稚園教育を知ってもらう大切なツールとして来年度は細目に更新していきたい。 *昨年度はドキュメンテーションを作成していたが、今年度は取り組むことができなかった。今後、幼稚園教育を可視化し、理解してもらうための方法として、取り組んでいきたい。
	⑧幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	35	13	2	0	2	6	0	0	
	⑨保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる	42	7	1	0	8	0	0	0	
	⑩幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	40	8	2	0	8	0	0	0	
環境整備・安全管理	⑪幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	45	5	0	0	8	0	0	0	・広い園庭に畑や果樹がたくさんあり、栽培物を育てたり、収穫したりする楽しさを経験できた。 *子どものケガについては応急処置を行い、保護者への説明を十分行っているが、うまく伝わっていなかったり、遊具の設置についてしっかり伝えられてなかったりしていたので、今後保護者対応を丁寧に行っていききたい。 *毎月、職員が施設や遊具の安全点検を行い、安全面に配慮していききたい。今後、保護者への啓発方法を考えていきたい。
	⑫幼稚園は、施設、遊具の安全に努めている	32	16	1	1	6	2	0	0	
	⑬幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	42	6	2	0	8	0	0	0	
	⑭幼稚園は保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	34	12	4	0	7	1	0	0	

※「アンケートのまとめについて（保護者配布プリント）」添付

4 学校園関係者評価結果

○評価委員会開催日 平成30年3月8日
 ○評価委員会参加者 学校評議員 川西北小学校長
 地域自治会長
 川西北幼稚園 職員 4名

○内容

- ・年間の取り組みについて（特に前回評議員会後の教育活動について）
- ・学校評価アンケートについて
- ・今後の課題と方策について

	項 目	評価委員会				・評価 *今後の方策
		A	B	C	D	
保育内容・研究推進	① わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	0	0	0	0	・自分の思いが出せたり、嫌なことを言えたりできるようになっていることが望ましい。 ・幼稚園は丁寧に子どもや保護者にかかわっている。その結果が評価に出ている。 ・保護者と教師の評価が似てくる。そこを意識して、子どもや保護者とかかわり、幼稚園を運営していかなければならない。 ・小学校も遊具の怪我が多い。安全に遊べる指導の徹底と、怪我が起きた時の事後対応を迅速、丁寧に行うようにする。 ・畑や土に触るという経験ができているのは大変よいことである
	② わが子は、学級に気の合う友達がいる	0	0	0	0	
	③幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている	2	0	0	0	
	④わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	1	0	0	0	
	⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている	1	0	0	0	
	⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている	1	0	0	0	
幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、小学校や中学校、保育所などの学校間交流や地域交流をよく行っている	2	0	0	0	*子どもが自己発揮できるように、教師は援助や環境構成を整えていくことが大切である。小学校でも課題になっている。 *今後も安全点検を引き続き行い、子どもの状況を見て、遊具の遊び方や設置について検討していく。
	⑧幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	2	0	0	0	
	⑨保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる	2	0	0	0	
	⑩幼稚園は、相談に誠実に対応している	1	0	0	0	

環境整備・安全管理	⑪幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	2	0	0	0
	⑫幼稚園は、施設、遊具の安全に努めている	2	0	0	0
	⑬幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	2	0	0	0
	⑭幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	1	0	0	0

○学校園関係者評価については、学校評議員会を活用し、評価委員会を行った。

○運動会、音楽会、生活発表会などを参観していただき、子どもの姿を通して、幼稚園教育や運営について意見をうかがうことができた。

○保護者対象の評価アンケートの結果を公表し、前年度の課題を受けて今年度に重点的に取り組んできた教育活動を説明した。来年度に向けた課題や方策について示唆を頂くことができた。